

2017 年度

# 事業報告書

2017 年 4 月 1 日から  
2018 年 3 月 31 日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

## 法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2001年に社団法人に、次いで2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。以下の学会理念をもとに各種事業を行う。

### 1. 役員 (2018年3月31日現在)

**理事長 (代表理事)** 稲田 英一 (理事)

**常務理事** 上村 裕一(理事(副理事長)) 足立 健彦(理事)  
鈴木 宏昌(理事) 山蔭 道明(理事) 小坂橋 俊哉(理事)

**理 事** 飯田 宏樹 井関 雅子 近江 禎子 大瀧 千代  
大西 佳彦 小澤 章子 落合 亮一 川口 昌彦  
川前 金幸 川真田樹人 小森万希子 佐和 貞治  
白神豪太郎 瀬尾 勝弘 山崎 光章 山本 達郎  
横田 美幸 萬 知子

**監 事** 鈴木 利保 福田 和彦 山田 芳嗣

### 2. 代議員 337名 (2018年3月31日現在)

青山 和義	赤田 信二	赤塚 正文	赤松 繁	浅野 市子	足立 健彦	天谷 文昌
新井多佳子	安藤 富男	飯田 宏樹	五十嵐あゆ子	五十嵐 孝	生駒 美穂	石川 岳彦
石川 輝彦	石黒 芳紀	石田 和慶	出田眞一郎	泉 薫	井関 雅子	五十洲 剛
磯野 史朗	市川 敬太	伊藤明日香	伊藤 彰師	稲田 英一	井上 聡己	井上莊一郎
伊吹 京秀	岩崎 衣津	岩崎 達雄	上山 博史	牛島 一男	内田 寛治	内田篤治郎
内田 博	内山 昭則	宇野 太啓	梅垣 修	裏辻 悠子	江島 豊	枝長 充隆
逢坂 佳宗	近江 禎子	大内 貴志	太田宗一郎	太田助十郎	大瀧 千代	大西 佳彦
大藤 雪路	岡 龍弘	岡崎 敦	岡野 紫	岡本 浩嗣	荻野 祐一	奥谷 龍
奥富 俊之	小倉 信	尾崎 眞	小澤 章子	落合 亮一	甲斐 哲也	香川 哲郎
垣花 学	角山 正博	笠井 麻紀	加瀬 幸子	片山 浩	門井 雄司	加藤 孝澄
加藤 道久	加藤 里絵	角谷 仁司	香取 信之	上林 卓彦	紙谷 義孝	狩谷 伸享
川上 浩文	川口 昌彦	川越いづみ	川崎 孝一	川崎 貴士	川人 伸次	川前 金幸
川股 知之	川真田樹人	河本 昌志	管 桂一	神田 恵	神田橋 忠	上村 裕一
菊谷 健彦	岸川 洋昭	木田 景子	北浦 道夫	北口 勝康	北野 敬明	北村 晶
鬼頭 剛	木下 真弓	金 徹	木村 信行	櫛方 哲也	国沢 卓之	熊澤 昌彦
久米 正記	久米田幸弘	倉迫 敏明	倉田 二郎	倉橋 清泰	黒澤 伸	小坂橋俊哉
小出 康弘	黄 仁謙	河野 昌史	小坂 誠	小嶋亜希子	後藤 隆久	小林 俊哉
小森万希子	小山 薫	金 正	近藤 一郎	近藤 修	最首 俊夫	齋藤 繁
斉藤 達志	齊藤 洋司	佐伯 茂	坂井 哲博	酒井 陽子	坂本 篤裕	坂本 三樹
佐倉 伸一	笹川 智貴	笹野 信子	佐藤 健治	佐藤 淳	佐藤 大三	佐藤 智行
佐藤 祐子	佐藤 善一	佐和 貞治	澤井 俊幸	澤村 成史	塩川 泰啓	重松次郎昌幸
重見 研司	柴田伊津子	柴田 康之	渋谷 博美	嶋田 文彦	清水 淳	下田 豊
下田 栄彦	下村 俊行	下山 恵美	生野慎二郎	白石 義人	白神豪太郎	進藤 一男
杉浦 健之	杉田 道子	杉山 和英	鈴木 昭広	鈴木 健二	鈴木 尚志	鈴木 孝浩
鈴木 健雄	鈴木 利保	鈴木 宏昌	鈴木 康之	角倉 弘行	住田 臣造	瀬尾 勝弘
瀬川 一	関本 研一	関山 裕詩	瀬戸 倫義	瀬戸口秀一	祖父江和哉	田家 諭
多賀紀一郎	高石 和	田垣内祐吾	高雄由美子	高木 敏行	高田 幸治	鷹取 誠
高橋 完	高橋健一郎	高橋 伸二	瀧田 恒一	田口奈津子	竹内 護	武田 吉正
田島 照子	田代 雅文	多田 文彦	多田羅恒雄	田中 克哉	田中 聡	田中 裕之
田中 誠	田中 源重	棚橋 順治	田辺久美子	谷上 博信	谷口 巧	谷口 正彦

谷口	由枝	玉井	久義	田村	高子	中馬	理一郎	杖下	隆哉	突沖	満則	津崎	晃一
土田	英昭	恒吉	勇男	角淵	浩央	寺井	岳三	照井	克生	富岡	俊也	富安	志郎
中尾	慎一	長尾	乃婦子	中川	博美	中木	村和彦	長坂	浩	長坂	安子	長田	理
永田	博文	中塚	逸央	中塚	秀輝	中根	正樹	中平	淳子	中村	信一	中村	達雄
中山	英人	成田	昌広	成松	紀子	成瀬	睦子	名和	由布子	新見	能成	新山	幸俊
仁熊	敬枝	西川	精宣	西川	俊昭	西田	修	西山	友貴	西脇	公俊	新田	俊一
野村	岳志	野村	実	萩平	哲	橋口	清明	橋口	さおり	橋口	光子	長谷川	麻衣子
馬場	知子	馬場	洋	濱口	眞輔	濱田	宏	原	哲也	原武	義和	尾頭	希代子
尾藤	博保	平川	奈緒美	平田	学	廣瀬	宗孝	廣田	和美	広田	喜一	福重	哲志
福田	和彦	福田	妙子	福積	みどり	藤野	裕士	藤村	直幸	藤本	一弘	藤原	祥裕
淵上	竜也	古市	結富子	外	須美夫	堀口	剛	本多	信雅	松川	隆	松永	明
松本	重清	松本	晶平	松本	美志也	眞鍋	治彦	間宮	敬子	丸山	一男	三尾	寧
水谷	健司	水野	圭一郎	水本	一弘	溝淵	知司	溝部	俊樹	南	敏明	宮下	徹也
宮田	裕史	宮部	雅幸	向田	圭子	室園	美智博	森	隆	森	美也子	森岡	宣伊
森崎	浩	森松	博史	森本	裕二	諸岡	浩明	安田	誠一	山内	正憲	山浦	健
山蔭	道明	山口	重樹	山口	浩史	山崎	光章	山田	圭輔	山田	徳洪	山田	芳嗣
山本	信一	山本	達郎	山本	博俊	山本	洋子	横田	美幸	横山	正尚	吉川	大輔
吉川	範子	吉田	仁	吉富	修	萬	知子	萬家	俊博	渡邊	至	渡邊	啓介
渡辺	恵介												

### 3. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行っている。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

#### 1. 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

#### 2. 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

#### 3. 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

#### 4. 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などのコメディカルと真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

#### 5. 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

#### 4. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

##### (1) 公益目的事業

公1 麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業 (**学術事業・交流事業**)

公2 会員が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業 (**教育事業・安全事業**)

公3 一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業 (**公益事業**)

##### (2) 収益事業等

収1 医師賠償責任保険の加入仲介事業、所得補償保険の加入仲介事業

収2 展示出展事業

#### 5. 社員総会・理事会報告

##### 第1回 理事会

1. 日 時：2017年4月21日（金） 13：00～16：00
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：20名 監事：2名
4. 出席者：理事19名 監事1名 オブザーバー17名

##### 第6回 定時社員総会

1. 日 時 2017年6月7日（水） 14:00～15:45
2. 場 所 神戸ポートピアホテル南館 ポートピアホール
3. 社員数 279名
4. 理事現在数 20名
5. 理事出席者数 20名
6. その他出席者数 270名（うち委任状31、議決権行使書24）

##### 第2回 理事会

1. 日 時：2017年8月25日（金） 13：00～17:30
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出席者：理事24名 監事2名

##### 第3回 理事会

1. 日 時：2017年11月24日（金） 13：00～17:00
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出席者：理事21名 監事2名

##### 第4回 理事会

1. 日 時：2018年3月23日（金） 13：00～17:00
2. 場 所：日本麻酔科学会 神戸事務局
3. 理 事：24名 監事：3名
4. 出席者：理事22名 監事1名

## 6. 事業報告

### (1) 公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1, 公2, 公3にある事業を組織運営上, 委員会に割り振り運営を行っている。

公1は, 学術事業, 交流事業であり担当委員会は, 以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は, 教育事業, 安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・安全委員会
- ・救急心肺蘇生検討委員会

公3は, 公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館事業検討委員会

### (2) 収益事業

収1は, 医師賠償責任保険, 所得補償保険の加入仲介事業を実施した。

収2は, 学術集会開催時に附設展示会を実施した。

### (3) 管理運営部門

管理運営部門として以下の組織を置き, 運営を行った。

- ・総務委員会
- ・財務委員会
- ・倫理委員会
- ・事務局

各委員会の委員長は理事とし, 統括として常務理事において運営を行った。以下に各委員会の事業報告の概要を記す。

### (1) 公益目的事業

<公1:学術・交流事業>

#### 1) 学術委員会 (委員長・担当常務理事:山蔭理事)

##### 【業務内容】

学術委員会は学術事業を担当する。「国内外の先進的研究を奨励・推進・支援し, あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と連携し, 新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り, その成果を社会(国民)へ還元する」ことを事業目的とし, 中期および短期計画を立案し, その実行にあたる。学術事業戦略は, 大きく A. 学術集会運営, B. 機関誌, 準機関誌の発行, C. 麻酔科学用語集の編集・発行に分けられる。

##### 【2017年度報告】

- ・第64回年次学術集会の開催, JA シンポジウムの実施, 2017年度支部学術集会の開催。
- ・年次および支部学術集会に関する事項の各種検討, 学術集会演題登録および査読システムの運用問題および今後策の検討。
- ・海外学会 EACA・KSA・AACA の派遣演者およびテーマの検討
- ・2018年度学会賞審査・決定, 学術研究推進助成課題の募集・審査・決定とそのあり方の検討。
- ・ピッチコンテストの募集・審査・決定。
- ・次年度 JA シンポジウム(委員会企画)決定。
- ・Journal of Anesthesia のインパクトファクター向上策の検討, JA Clinical Reports の活性化, 麻酔科学用語集改訂。

★ 委員会開催回数4回(7月9日, 8月14日, 11月7日, 1月29日)

#### 2) 国際交流委員会 (委員長:萬理事 担当常務理事:山蔭理事)

##### 【業務内容】

国際交流委員会は「国際的医療連携への貢献」に関連する交流事業戦略の国際交流部門を担当し, その中期および短期計画を立案, 実行にあたる。

#### 【2017 年度報告】

- ・第 64 回年次学術集会国際交流委員会企画の実施と次年度学術集会開催時の検討・決定。
- ・2017 年度海外留学生受け入れ (10 名), 2018 年度海外受け入れ留学生 (10 名) および施設決定, 留学生受け入れ運用の見直し・マニュアル作成。
- ・第 5 回東アジア麻酔科会議への Delegate 派遣委員の検討と決定。

★委員会開催回数 2 回 (7 月 30 日, 10 月 30 日)

### 3) 関連領域検討委員会 (委員長: 川前理事 担当常務理事: 上村理事)

#### 【業務内容】

関連領域検討委員会は、「他領域と協働する医療」に関連する交流事業戦略の関連領域部門を担当し, その中期および短期計画を立案, 実行にあたる。活動範囲は, 集中治療, 疼痛治療, 緩和医療など麻酔科関連領域部門との関わりについての検討である。

#### 【2017 年度報告】

日本麻酔科学会地域トレーニングサイトでの開催状況についての検討, 理事向けおよび専門医試験官向け講習会を実施し, 理事向け BLS/ACLS コース 5 名, 専門医試験官向け BLS/ACLS コース 3 名が参加した。各地域トレーニングサイトでの BLS, ACLS コース実施を実施し, ACLS コースに 132 名 (内会員, 11 名), BLS コースに 161 名 (内, 会員 9 名) が参加した。日本専門医機構専門医制度におけるサブスペシャリティ領域専門医制度の検討, 第 65 回学術集会委員会企画の検討, JRC ガイドライン 2020 作業部会の推薦依頼, AHA BLS/ACLS コースインストラクターの育成計画の検討, AHA ReSS Scientific Sessions 2017 に参加し, 日本の心肺蘇生教育の現状を発表した。また, 救急救命士の気管挿管実習について関する検討, WHO(世界保健機関)による緩和ケアの定義 (2002 年) 定訳案の検討を行なった。安全委員会と合同で日本麻酔科学会が考える無痛分娩のあり方 声明案を作成した。

★ 委員会開催回数 2 回 (6 月 12 日, 11 月 4 日)

### <公2: 教育・安全事業>

#### 1) 教育委員会 (委員長: 佐和理事 担当常務理事: 鈴木理事)

#### 【業務内容】

教育委員会は教育事業を担当する。学会理念の 1 項に掲げる「質の高い麻酔科医の育成」のため, 認定医・専門医・指導制度および認定病院など教育機関の充実を図る。専門医, 指導医および認定施設の認定および更新の審査は明確な基準を設けてこれを行う。高度な知識, 判断力, 技術を向上, 維持するための研修や自己学習の機会を提供する環境を整備する。また, 非会員に向けた教育事業と連携し, 多職種への教育普及, 認定の実施, 関連団体との折衝を実施し, 周術期管理チーム医療の確立を目指す。

#### 【2017 年度報告】

第 64 回年次学術集会時リフレッシュコースの実施, 学会認定制度の検討, 専門医試験の今後のあり方についての検討, 学会・機構認定単位表の修正案の検討, 感染症学会 サブスペシャリティ領域専門医 認定依頼, 日本専門医機構専門医制度について機構との折衝 (研修プログラム整備基準修正, 機構専門医更新基準, 専門医共通講習, 専門医領域講習の実施, 関連学会での専門医領域講習の実施, 専門研修プログラム定員数) についての検討などを行った。

★ 委員会開催回数 5 回 (4 月 17 日, 7 月 25 日, 10 月 6 日, 11 月 17 日, 1 月 12 日)

・麻酔業務に関わる医師, 医師以外, ならびに施設の審査・認定  
所定の内規に則り下記資格ならびに施設を認定した。

#### ① 認定医等の新規認定, 資格試験の実施

2017 年度は, 2017 年 4 月・8 月・12 月の計 3 回認定審査を行い, 2017 年度新規認定医審査合格者数は 390 名となった。

第 1 回申請者: 228 名	合格者: 220 名 (2017 年 4 月 1 日認定)
第 2 回申請者: 108 名	合格者: 107 名 (2017 年 8 月 1 日認定)
第 3 回申請者: 64 名	合格者: 63 名 (2017 年 12 月 1 日認定)

#### ② 新規専門医

2017 年 9 月 24 日・9 月 29 日, 30 日, 第 56 回麻酔科専門医認定試験が実施された。

9月24日：筆記試験（会場：TOC 有明・神戸国際展示場）

9月29日、30日：口頭試験・実技試験（会場：神戸ポートピアホテル）

受験者総数：555名

新規認定専門医（3科目合格者）数：453名

筆記受験者数：485名 合格者：430名 合格率：88.7%

口頭受験者数：480名 合格者：454名 合格率：94.6%

実技受験者数：480名 合格者：448名 合格率：93.3%

## ② 新規指導医

2017年11月7日、2017年度麻酔科指導医新規認定の審査会が開催された。麻酔科指導医新規認定者は323名となった。

## ③ 新規認定病院

2017年度は、3回認定審査を行い、2017年度新規認定病院数は40施設となった。

第1回申請施設：12施設 合格施設：12施設（2017年4月1日認定）

第2回申請施設：17施設 合格施設：17施設（2017年8月1日認定）

第3回申請施設：11施設 合格施設：11施設（2017年12月1日認定）

## ④ 認定医等の資格更新審査

2018年1月12日、2017年度麻酔科指導医更新者の審査会が開催され、麻酔科指導医更新者は341名（2018年3月31日時点）となった。2018年2月23日、2017年度麻酔科専門医更新者の審査会が開催され、麻酔科専門医更新者は427名（2018年3月31日時点）となった。また2018年3月23日麻酔科認定医更新申請者の審査会が開催され、認定医更新者は136名（2018年3月31日時点）となった。

指導医更新者：341名 暫定指導医認定：11名

専門医更新者：427名 暫定専門医認定：59名

認定医更新者：136名 暫定認定医認定：4名

## ⑤ 認定病院更新

麻酔科認定病院更新申請施設 121施設（内、121施設の認定）

## ⑦ 麻酔科専門医研修プログラム

機構認定麻酔科専門研修プログラム：申請数：194プログラム 合格施設：192プログラム

## 2) 周術期管理チーム委員会（委員長：齋藤 繁 担当常務理事：鈴木理事）

### 【業務内容】

周術期管理チーム委員会では他職種団体と協働して手術室の基礎教育レベルの底上げによる医療安全向上、早期離床の実現を目指し、他職種非会員へ教材提供、セミナー開催を通して教育機会を設け、その効果を筆記試験、継続した講習会受講により認定する。

### 【2017年度報告】

- ・第64回年次学術集会、ならびに支部学術集会に併催する形で計7回の周術期管理チームセミナーを開催、次年度の各種セミナーの検討と決定。
- ・筆記試験問題の検証と本年度試験問題の作成
- ・筆記試験出題問題の解説集の発行、周術期管理チームテキスト第3版（改訂版）の発行。
- ・周術期管理チーム看護師新規認定審査、周術期管理チーム薬剤師新規認定審査、周術期管理チーム臨床工学技士新規認定審査、周術期管理チーム看護師更新認定審査。
- ・各団体との意見交換。
- ・更新認定要件の見直し検討とアンケートの実施、システム改修。

★ 委員会開催回数 3回（7月19日、12月15日、2月15日）

## ① 周術期管理チーム認定資格 新規審査

2017年5月15日～6月末日に認定申請受付、7月～9月に書類審査、11月18日に筆記試験を行い、以下の通り認定をした。

### 【看護師】

新規申請者数：597名 書類審査合格者数：553名 筆記受験者数：542名

合格者数：517名 認定者数：516名 (2018年4月1日認定)

【薬剤師】

新規申請者数：27名 書類審査合格者数：25名 筆記受験者数：25名

合格者数：25名 認定者数：25名 (2018年4月1日認定)

【臨床工学技士】

新規申請者数：10名 書類審査合格者数：9名 筆記受験者数：9名

合格者数：8名 認定者数：8名 (2018年4月1日認定)

【周術期管理チーム認定筆記試験開催概要】

日程：2017年11月18日

会場：TOC 五反田メッセ (東京会場)，神戸ポートピアホテル(神戸会場)

②周術期管理チーム認定資格 更新審査

2017年10月2日～11月15日に認定申請受付，11月～12月に書類審査を行い，以下の通り認定をした。

【看護師】

更新申請者数：83名 書類審査合格者数：83名

合格者数：83名 認定者数：83名 (2018年4月1日認定)

**3) 安全委員会 (委員長：飯田理事 担当常務理事：足立理事)**

【業務内容】

安全委員会は，麻酔および周術期医療に必要なリスクマネジメントに関する事項について検討する安全事業戦略を担当する。安全な麻酔の施行に必要な調査および情報収集を行い，さらに質の高い安全な麻酔のためのガイドライン作成やマニュアルの策定を主導する。安全事業戦略は，大きく4つの部門，統計調査・情報収集部門，麻酔関連機器部門，薬剤および麻酔手技部門，リスクマネジメント部門に分けられる。

【2017年度報告】

今年度検討したガイドライン等の作成進捗は以下の通りである

- ・安全な中心静脈カテーテル挿入・管理のためのプラクティカルガイド2017英語版を投稿した。
- ・アナフィラキシーへの対応ガイドラインは作成中である。
- ・局所麻酔薬中毒への対応ガイドラインは作成し，英語版についても投稿が完了した。
- ・医薬品ガイドラインの改訂案については1事項の改訂を行った。
- ・ヘルシンキ宣言の和訳を作成中である。
- ・禁煙ガイドライン追補版を作成した。
- ・MEP モニタリング アンケートを実施し，報告書を作成した。
- ・日本麻酔科学会が考える無痛分娩のあり方 声明案を関連領域検討委員会と合同で作成した。
- ・APSFNL 日本語版を作成した。

また，医療機器不具合情報の検討，会員への周知，安全委員会企画の検討，およびJSAPIMS (麻酔台帳) の開発，次期ヘルプデスク窓口の取り扱い企業の選定，偶発症例調査結果の論文化，厚生労働省研究班「無痛分娩の実態把握及び安全管理体制の構築について」の委員派遣の検討，ICD (インфекションコントロールドクター) 申請受付を行い申請者35名全員が合格した，2019年度実施のICD制度講習会の申請も行った。

★ 委員会開催回数 3回 (8月2日，11月2日，3月2日)

<公3：公益事業>

**1) 広報委員会 (委員長・担当常務理事：足立理事)**

【業務内容】

広報委員会は公益社団法人としての本学会の目的を念頭に置き，本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を担当する。本学会の社会的活動の推進を図ることを目的に中期及び短期計画を立案し，その実行に当たる。活動の対象は一般社会，各種マスコミ，会員，臨床研修医，医学生，及び関係各省庁に分けられる。

【2017年度報告】

- ・会員へ理事会決定事項を広報，メディアからの問い合わせ対応



- ・麻酔の日(10月13日)広報活動検討のうえ、ポスター作成・認定病院への配布、研修医向けパンフレット改訂の配布。
- ・ニューズレターの企画・校正・発刊、メールマガジンの配信。
- ・第64回年次学術集会招待企画についての検討、実施と次年度企画検討と決定。
- ・麻酔のしおりの販売と改訂版発行に向けた内容検討。
- ・HP改変についての検討、新コンテンツ(麻酔科専門医研修プログラム検索機能、研修医へのメッセージ等)公開。
- ・レジナビフェア2017への参加と今後の検討

★ 委員会開催回数 3回(7月9日, 10月9日, 1月30日)

## 2) 麻酔博物館事業検討委員会(委員長:瀬尾理事 担当常務理事:小板橋理事)

### 【業務内容】

麻酔博物館は、主に一般社会、会員を対象とした普及啓発事業を担当する。麻酔科学発展の足跡となる資料の収集・保存と、展示による啓発を目的に中期および短期計画を立案し、その実行に当たる。活動の内容は、資料収集・整理・保存、企画運営、広報・交流活動、機器史料展示に分けられる。

### 【2017年度報告】

2017年度来館者数は、1,053名(2018年3月31日時点)となった。第64回年次学術集会特別展示実施、第65回年次学術集会委員会企画と特別展示実施決定、図書、文書管理の方針検討・棚卸し実施決定、新しい寄贈台帳システム導入、常置委員会化の決定、2018年度インタビュー実施、展示物英語併記改訂、華岡青洲展示コーナー設置、英語HP開設、麻酔の日の広告について検討、ISHA誘致活動、書籍・機器の受け入れなどを行った。

★ 委員会開催回数 2回(8月9日, 2月8日)

## (2) 収益事業

### <収1>

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、三井住友海上保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と締結し、その仲介事務事業を行った。

### <収2>

第63回年次学術集会(2016年5月26日~28日)開催、9月の第1週~第2週に各支部学術集会開催時に、医療機器、医薬品、検査機器、医療情報示説、書籍等を対象として出展を実施し、本学会は展示小間を提供した

## (3) その他(管理運営部門)

### 1) 総務委員会(委員長・担当常務理事:鈴木理事)

#### 【業務内容】

学会理念達成のため、麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略、社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を担当し、学会組織に係わる事項、すなわち組織運営に関する事項、会則検討に関する事項を担当する。

#### 【2017年度報告】

- ・平成30年度診療報酬改定に向け、麻酔管理料Ⅰの改定、麻酔管理料Ⅲの新設を要望。
- ・フリーター麻酔科医への対策について検討。
- ・医療ニーズの高い未承認薬・適応外薬の要望対象の拡大に関する要望検討、供給停止品目の検討。
- ・外保連含む外科系関連団体会議への出席と理事会報告。
- ・2018年度会則改廃検討。
- ・名誉会員審査

★ 委員会開催回数 2回(9月12日, 2月5日)

### 2) 財務委員会(委員長・担当常務理事:小板橋理事)

#### 【業務内容】

学会理念達成のための事業計画遂行には、学会の財務基盤の長期的安定が必須である。財務委員会は適切な事業計画作成を可能とするために、過去の前算案、決算書、財務管理の実績と現状分

析、および将来的予測から、正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために、健全な財務状況を維持し、地震など災害発生時にも事業継続を可能とするような計画を立案する。

#### 【2017 年度報告】

2016 年度決算についての検討, 2017 年度各月月締め決算・上半期決算・暫定決算それぞれの検討, 第 64 回学術集会暫定決算についての検討, 2018 年度予算についての検討, 臨床試験医師養成協議会 会費支払いについての検討, 中期長期計画に関する検討についての検討, 役員・委員報酬及び委員交通費規定 (国内・海外) 変更についての検討, 教育事業収益についての検討などを行った。

★ 委員会開催回数 6 回 (4 月 18 日, 7 月 19 日, 9 月 19 日, 11 月 22 日, 12 月 19 日, 1 月 24 日, その他検討事項はメール持回り審議を行った。

### 3) 倫理委員会 (委員長: 山崎理事 担当常務理事: 鈴木理事)

#### 【業務内容】

倫理委員会は、学会理念に基づく事業を遂行する上で問題となる倫理的事項について検討する。学会や会員に関わる倫理的問題が生じた場合、その処分を含む対応について検討する。

#### 【2017 年度報告】

倫理審査を 9 件実施した。また、新たに医療法違反調査特別委員会, 専門医新規申請書類調査特別委員会を設置した。その他, 高知大学論文調査特別委員会, 斎藤論文調査特別委員会, 専門医新規申請書類調査特別委員会の調査報告書を元に, 処分案の検討, 斎藤論文 に関する学会声明英語版の検討, 臨床研究・論文投稿マニュアルの検討, 第 65 回日本麻酔科学会学術集会の委員会企画の検討を行なった。

★ 委員会開催数 4 回 (4 月 19 日, 8 月 18 日, 11 月 17 日, 3 月 7 日)

### 4) 事務局 (事務局長: 上村理事)

#### 【業務内容】

定款に本学会の事務を処理するために事務局を設置する, と規定されるとともに, 事務局長は理事の中から理事会が選任すること, 事務長及び所要の職員を置くこと, と規定されている。

#### 【2017 年度報告】

新入会者の審査, 転載許諾料についての検討, 2018 年度事業計画, 中期長期計画についての検討, システム開発状況についての検討, 2017 年度上半期事業報告・業務監査についての対応, 内閣府立入検査への対応などを行った。

また, ハラスメント対策について, 第 65 回日本麻酔科学会の講演でハラスメントに関する講演内容の検討, 理事対象のハラスメント講習会の実施について検討した。また, 今後の学会内でのハラスメント対策について検討, ハラスメントに関する外部講演会に参加した。

★ 委員会開催数 2 回 (8 月 16 日, 12 月 2 日) メールでの持ち回り審議も行った。

### 5) その他

#### 【登録・派遣】

日本学術会議, 日本医師会, 日本医学会, 厚生労働省医道審議会標榜医審査会, 日本専門医機構, 大学評価・学位授与機構, 外科系医学会社会保険委員会連合, 外科関連学会協議会, 日本救急医療財団, 日本蘇生協議会, 3 学会合同呼吸療法士認定委員会, 医療機能評価機構, 日本骨髄バンク, 日本臓器移植ネットワーク, 全国 MC 協議会, 全国医療安全共同行動, 日本歯科麻酔学会, 禁煙学術ネットワーク, WFSA, AARS 等に委員を派遣し, 各々の目的と事業に合わせ連携・協力した。

・各種学術集会協賛・後援

関連協力団体の学術集会および講習会, 市民公開講座等を協賛・後援を行った。

## 7. 2017 年度委員会委員等一覧

<事務局>担当常務理事: 上村 裕一

事務局長: 上村 裕一

事務局: 足立 健彦 藤野 裕士 森崎 浩

オブザーバー：工藤 一大 白石 義人 多田 恵一 増田 純一  
神戸事務局  
東京事務所

〔ハラスメント対策室〕

室長：近江 禎子  
委員：山口 重樹  
オブザーバー：顧問弁護士

＜男女共同参画プロジェクト＞

プロジェクト長：萬 知子  
副プロジェクト長：森松 博史  
メンバー：大瀧 千代 藤野 裕士 増田 美奈

＜常置委員会＞

【総務委員会】担当常務理事：鈴木 宏昌  
委員長：鈴木 宏昌  
副委員長：大西 佳彦 落合 亮一  
委員：佐藤 哲文 田辺久美子 谷口 巧 森崎 浩  
オブザーバー：齋藤 繁

〔社会保険部会〕

部会長：落合 亮一  
部会員：天谷 文昌 岩瀬 良範 上園 晶一 桑内 亜紀 塚田さよみ  
寺嶋 克幸 森崎 浩 横田 美幸

〔会則検討部会〕

部会長：齋藤 繁  
部会員：河本 昌志 鎮西美栄子 前原 康宏

〔渉外活動検討部会〕

部会長：大西 佳彦  
部会員：落合 亮一 土田 英昭 中塚 秀輝 萬 知子

【財務委員会】担当常務理事：小坂橋俊哉

委員長：小坂橋俊哉  
副委員長：藤野 裕士  
委員：齋藤 繁 多田羅恒雄  
オブザーバー：西脇 公俊

【倫理委員会】担当常務理事：鈴木 宏昌

委員長：山崎 光章  
副委員長：山口 重樹  
委員：浅井 隆 牛島 一男 近江 禎子 北村 晶

【学術委員会】担当常務理事：山蔭 道明

委員長：山蔭 道明  
副委員長：小森万希子  
委員：天谷 文昌 磯野 史朗 小竹 良文 廣田 和美 増井 健一  
松本美志也 山浦 健

◆会長1名・副会長2名

会長：土田 英昭  
副会長：河本 昌志 西脇 公俊

〔第65回学術集会実行委員会〕

委員長：河本 昌志

副委員長：西脇 公俊  
委員：角倉 弘行 木山 秀哉 澤 智博 鈴木 利保 祖父江和哉  
田中 克哉 濱田 宏 南 敏明 森本 裕二 山口 重樹  
萬家 俊博

〔第66回学術集会実行委員会〕

委員長：西脇 公俊

◆ 第65回学術集会循環ワーキンググループ

WG 長：田中 克哉  
メンバー：北川 裕利 田中 裕之 中島 芳樹 原 哲也 山崎 光章

◆ 第65回学術集会呼吸ワーキンググループ

WG 長：木山 秀哉  
メンバー：青山 和義 甲斐 哲也 車 武丸 鈴木 昭広 中山 禎人

◆ 第65回学術集会神経ワーキンググループ

WG 長：山口 重樹  
メンバー：垣花 学 倉田 二郎 河野 崇 河野 達郎  
合谷木 徹 田辺久美子

◆ 第65回学術集会小児・産科ワーキンググループ

WG 長：角倉 弘行  
メンバー：大瀧 千代 川名 信 田辺瀬良美 遠山 悟史 水原 敬洋

◆ 第65回学術集会ペイン緩和・局所麻酔ワーキンググループ

WG 長：南 敏明  
メンバー：天谷 文昌 住谷 昌彦 高雄由美子 服部 政治 橋口さおり  
濱田 宏

◆ 第65回学術集会救急・ICUワーキンググループ

WG 長：祖父江和哉  
メンバー：今泉 均 志馬 伸朗 谷口 巧 長谷 敦子 宮津 光範

◆ 第65回学術集会麻酔科関連-1ワーキンググループ

WG 長：萬家 俊博  
メンバー：片山 勝之 讃岐美智義 尾頭希代子 平田 直之

◆ 第65回学術集会麻酔科関連-2ワーキンググループ

WG 長：森本 裕二  
メンバー：佐伯 昇 佐藤 健治 里元麻衣子 前原 康宏 萬 知子

◆ 第65回学術集会麻酔全般ワーキンググループ

WG 長：澤 智博  
メンバー：北村 晶 重見 研司 高橋 伸二 徳嶺 譲芳 宮部 雅幸  
森松 博史

〔学術研究選考委員会〕

委員：木山 秀哉 澤 智博 角倉 弘行 祖父江和哉 田中 克哉  
南 敏明 森本 裕二 山口 重樹 萬家 俊博

〔学術研究審査委員会〕

委員長：山蔭 道明  
委員：浅井 隆 磯野 史朗 垣花 泰之 川股 知之 櫛方 哲也  
藤野 裕士 増井 健一 松本美志也 森松 博史

〔麻酔科学用語専門部会〕

部 会 長：小竹 良文  
部 会 員：江木 盛時 鈴木 孝浩 角倉 弘行 益田 律子

〔機関誌専門部会〕

部 会 長：廣田 和美  
部 会 員：井上莊一郎 磯野 史朗 市瀬 史 垣花 学 川口 昌彦  
齋藤 繁 照井 克生 橋本 悟 山蔭 道明 山本 達郎

〔Journal of Anesthesia Editorial Board〕

Editor-in-Chief：山蔭 道明  
Associate Editor-in-Chief：浅井 隆  
Section Editor：浅井 隆 (Airway) 天谷 文昌 (Pain Medicine)  
内田 寛治 (Respiratory Medicine) 江木 盛時 (ICU & Emergency Medicine)  
小田 裕 (Clinical Pharmacology) 小原 伸樹 (Clinical Monitoring)  
櫛方 哲也 (Neuroscience) 蔵谷 紀文 (Pediatric Anesthesia)  
角倉 弘行 (Obstetric Anesthesia) 平田 直之 (Cardiovascular Medicine)  
廣田 和美 (Clinical Reports) 堀田 訓久 (Regional Anesthesia)  
増井 健一 (Statistics)

〔JA Clinical Reports Editorial Board〕

Editor-in-Chief：廣田 和美  
Section Editor：浅井 隆 磯野 史朗 井上莊一郎 江木 盛時 小田 裕  
垣花 学 川口 昌彦 上村 裕一 齋藤 繁 角倉 弘行  
土田 英昭 照井 克生 橋本 悟 平田 直之 山蔭 道明  
山本 達郎

〔「麻酔」編集会議〕

委 員：磯野 史朗 小竹 良文

【国際交流委員会】担当常務理事：山蔭 道明

委 員 長：萬 知子  
副 委 員 長：川真田樹人  
委 員：大瀧 千代 垣花 学 木山 秀哉 長坂 安子 横山 正尚

〔英語ホームページリニューアル専門部会〕

部 会 長：長坂 安子  
部 会 員：浅井 隆 角倉 弘行  
オブザーバー：廣田 和美

【関連領域検討委員会】担当常務理事：上村 裕一

委 員 長：川前 金幸  
副 委 員 長：井関 雅子 小澤 章子  
委 員：白石 義人 野村 実 橋口さおり

〔集中治療領域検討部会〕

部 会 長：川前 金幸  
部 会 員：垣花 泰之 中根 正樹 西田 修 藤野 裕士  
外 部 委 員：松田 兼一

〔ペイン領域検討部会〕

部 会 長：井関 雅子  
部 会 員：高雄由美子 濱口 眞輔 平川奈緒美 眞鍋 治彦

〔緩和領域検討部会〕

部 会 長：橋口さおり  
部 会 員：佐藤 哲観 細川 豊史 間宮 敬子 山口 重樹

〔救急領域検討部会〕

部 会 長：小澤 章子  
部 会 員：清水 直樹 武田 吉正 谷口 巧 成松 英智  
間渕 則文 森村 尚登  
外 部 委 員：木村 昭夫 坂本 哲也

〔心臓血管麻酔領域検討部会〕

部 会 長：野村 実  
部 会 員：岡本 浩嗣 小出 康弘 坂本 篤裕

◆ ECC 講習会支部担当責任者ワーキンググループ

W G 長：田勢長一郎  
メ ン バ ー：今泉 均（北海道） 伊関 憲（東北） 境田 康二（東京・関東甲信越）  
間渕 則文（東海北陸） 水本 一弘（関西） 石川 雅巳（中国四国）  
漢那 朝雄（九州）  
オブザーバー：多田 恵一

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考えるワーキンググループ

W G 長：多田 恵一  
メ ン バ ー：川前 金幸 谷川 攻一 西脇 公俊 森崎 浩

【教 育 委 員 会】担当常務理事：鈴木 宏昌

委 員 長：佐和 貞治  
副 委 員 長：川口 昌彦  
委 員：大嶽 浩司 国沢 卓之 小出 康弘 松永 明 重見 研司  
高田 真二 中塚 秀輝 間宮 敬子  
オブザーバー：稲田 英一

◆ 専門医研修プログラム検討ワーキンググループ

W G 長：大嶽 浩司  
メ ン バ ー：足立 健彦 上村 裕一 水本 一弘 森松 博史 山口 重樹

〔認定審査委員会〕

委 員 長：佐和 貞治  
副 委 員 長：大嶽 浩司 国沢 卓之 重見 研司 松永 明

〔第1部会（専門医認定）〕

部 会 長：重見 研司  
部 会 員：大瀧 千代 川股 知之 倉橋 清泰  
オブザーバー：小板橋俊哉

（筆記試験）大塚 将秀（問題作成責任者）

石黒 芳紀 井上 莊一郎 内田篤治郎 加藤 里絵 川股 知之  
坂口 嘉郎 澤井 俊幸 祖父江和哉 田中 克哉 寺嶋 克幸  
藤野 裕士 森松 博史 山内 正憲

（口頭試験）山浦 健（問題作成責任者）

大嶽 浩司 紙谷 義孝 木山 秀哉 小山 薫 鈴木 孝浩  
廣瀬 宗孝 萬 知子

(実技試験) 原 哲也 (問題作成責任者)  
青山 和義 天谷 文昌 小澤 章子 合谷木 徹 濱田 宏  
水本 一弘 山口 重樹

〔第2部会 (指導医認定)〕

部 会 長：松永 明  
部 会 員：内野 博之 川崎 貴士 多田羅恒雄

〔第3部会 (認定医, 認定施設認定)〕

部 会 長：国沢 卓之  
部 会 員：鈴木 康之 山内 正憲 萬家 俊博

〔第4部会 (研修プログラム認定)〕

部 会 長：大嶽 浩司  
部 会 員：香取 信之 鈴木 健二 藤野 裕士 森松 博史  
オブザーバー：小森万希子

【安 全 委 員 会】担当常務理事：足立 健彦

委 員 長：飯田 宏樹  
副 委 員 長：横田 美幸  
委 員：河本 昌志 坂口 嘉郎 澤 智博 祖父江和哉 西川 精宣  
西脇 公俊 森松 博史  
オブザーバー：瀬尾 勝弘

〔偶発症例 (肺塞栓) 専門部会〕

部 会 長：横田 美幸  
部 会 員：黒岩 政之 讃岐美智義 中塚 秀輝 森松 博史 山口 浩史  
オブザーバー：宮脇 卓也  
外 部 委 員：中村 真潮

〔JSAPIMS 周術期情報システム専門部会〕

部 会 長：澤 智博  
部 会 員：讃岐美智義 萩平 哲  
オブザーバー：足立 健彦

〔医薬品適正評価対策専門部会〕

部 会 長：西川 精宣  
部 会 員：岩崎 達雄 奥田 泰久 北村 晶 白石 義人 中馬理一郎

〔CCP 専門部会〕

部 会 長：河本 昌志  
部 会 員：大嶽 浩司 横田 美幸

〔麻酔機器・麻酔手技安全対策専門部会〕

部 会 長：坂口 嘉郎  
部 会 員：佐和 貞治 祖父江和哉 萩平 哲

〔医療情報管理専門部会〕

部 会 長：祖父江和哉  
部 会 員：飯田 宏樹 澤 智博 溝渕 知司

◆ ICD 制度協議会運営ワーキンググループ

W G 長：河本 昌志  
メ ン バ ー：稲垣 喜三 白石 義人 森本 裕二

◆ 安全な中心静脈カテーテル挿入の手引き改訂ワーキンググループ

W G 長：西脇 公俊

メンバー：河本 昌志 柴田 康之 竹内 護 田中 克哉 徳嶺 譲芳

◆ アナフィラキシーへの対応ガイドラインワーキンググループ

W G 長：森松 博史

メンバー：高澤 知規 原 哲也 光畑 裕正 山浦 健 萬 知子

◆ 局所麻酔薬中毒への対応ガイドラインワーキンググループ

W G 長：西川 精宣

メンバー：小田 裕 酒井 規広 祖父江和哉 土井 克史

◆ 鎮静ワーキンググループ

W G 長：横田 美幸

メンバー：伊藤 健二 大嶽 浩司 小澤 章子 阪井 裕一 原 哲也

外部委員：宮内 靖史

◆ MEPモニタリングガイドライン作成ワーキンググループ

W G 長：川口 昌彦

メンバー：飯田 宏樹 垣花 学 田中 聡 福岡 尚和

【広報委員会】担当常務理事：足立 健彦

委員長：足立 健彦

副委員長：白神豪太郎

委員：加藤 里絵 渋谷 博美 橋本 悟 藤中 和三

オブザーバー：萬 知子

◆ 麻酔のしおり改訂ワーキンググループ

W G 長：足立 健彦

メンバー：香川 哲郎 白神豪太郎

【麻酔博物館委員会】担当常務理事：小板橋 俊哉

委員長：瀬尾 勝弘

委員：奥富 俊之 木内 恵子 釘宮 豊城 武田 純三 土手健太郎

牧野 洋 松木 明知

オブザーバー：齋藤 繁

館長：武田 純三

〔麻酔博物館 館員ボード〕

館長：武田 純三

館員：奥富 俊之 木内 恵子 菊地 博達 釘宮 豊城 齋藤 繁

土手健太郎 牧野 洋 松木 明知

〔ISHA 誘致検討専門部会〕

部会長：齋藤 繁

委員：奥富 俊之 菊地 博達 土手健太郎 中田 善規 牧野 洋

松木 明知

<特別委員会>

【周術期管理チーム委員会】

委員長：齋藤 繁

副委員長：大瀧 千代

委員：川前 金幸 河本 昌志 上村 裕一 木山 秀哉 佐藤 健治

重見 研司 森崎 浩 山内 正憲

外部委員：石橋まゆみ 萱島 道德 栗田 浩 三枝 典子 柴田ゆうか



関谷 秀樹 原田 俊和 平野 博美 舟越 亮寛 峯村 純子  
宮地 哲也

〔周術期管理チーム認定審査委員会〕

委員長：齋藤 繁  
副委員長：川口 昌彦 佐和 貞治  
委員：上村 裕一 土田 英昭  
外部委員：三枝 典子 平野 博美

◆ 周術期管理チーム認定ワーキンググループ

WG 長：森崎 浩  
メンバー：木山 秀哉 齋藤 繁  
外部委員：柴田ゆうか 舟越 亮寛 宮坂 善之

◆ 周術期管理チーム試験問題作成ワーキンググループ

WG 長：落合 亮一  
メンバー：飯田 良司 石川 真士 上嶋 浩順 角山 正博 草間 宣好  
小坂 康晴 佐藤 健治 柴崎 雅志 高田 真二 田中 聡  
張 京浩 遠山 悟史 長嶺 祐介 新山 幸俊 西部 伸一  
丹羽 康則 原 芳樹 古井 郁恵 坊垣 昌彦 松成 泰典  
間宮 敬子  
外部委員：岡林 紀恵 山本 千恵 萱島 道德 宮地 哲也

◆ 周術期管理チームテキスト作成ワーキンググループ

WG 長：河本 昌志  
メンバー：川股 知之 鈴木 利保 角倉 弘行 坪川 恒久 恒吉 勇男  
森松 博史

◆ 周術期管理チームセミナーワーキンググループ

WG 長：木山 秀哉  
メンバー：上山 博史 小原 伸樹 鎌田ことえ 川股 知之  
坂口 嘉郎 鈴木 聡 田村 岳士 長瀬 清  
中塚 秀輝

【利益相反委員会】

委員長：山本 達郎  
副委員長：近江 禎子  
委員：齋藤 繁

【支部委員会】

委員：山蔭 道明 川真田樹人 落合 亮一 飯田 宏樹 川口 昌彦  
白神豪太郎 山本 達郎

【支部運営委員会】

(北海道・東北支部)

支部長：山蔭 道明  
総務委員：鈴木 健二  
学術委員：川前 金幸 国沢 卓之 西川 俊昭  
広報委員：笹川 智貴  
委員：石川 岳彦 枝長 充隆 黒澤 伸 河野 達郎 住田 臣造  
長尾乃婦子 廣田 和美 森本 裕二 山内 正憲

(東京支部)

支部長：落合 亮一  
総務委員：稲田 英一 尾崎 眞 坂本 篤裕 萬 知子  
学術委員：井関 雅子 小森万希子 鈴木 孝浩 森崎 浩

教育委員：上園 晶一 内野 博之 田村 高子  
広報委員：大嶽 浩司 澤村 成史 横田 美幸

(関東・甲信越支部)

支部長：川真田樹人  
総務委員：岡本 浩嗣 後藤 隆久 鈴木 宏昌  
学術委員：井上莊一郎 奥田 泰久 津崎 晃一  
教育委員：北村 晶 小坂橋俊哉 齋藤 繁 竹内 護  
広報委員：磯野 史朗 北村 享之 馬場 洋 山口 重樹

(東海・北陸支部)

支部長：飯田 宏樹  
総務委員：中島 芳樹 西脇 公俊 山崎 光章  
学術委員：小澤 章子 谷口 巧 藤原 祥裕  
教育委員：鈴木 照 土田 英昭 西田 修 宮部 雅幸  
広報委員：岡崎 敦 重見 研司 祖父江和哉

(関西支部)

支部長：川口 昌彦  
学術委員：足立 健彦 上山 博史 中尾 慎一  
教育委員：溝渕 知司  
広報委員：川股 知之  
委員：上林 卓彦 大西 佳彦 北川 裕利 佐和 貞治  
瀬川 一 西川 精宣 廣瀬 宗孝 藤野 裕士 南 敏明

(中国・四国支部)

支部長：白神豪太郎  
学術委員：齊藤 洋司 田中 克哉 森松 博史  
委員：稲垣 喜三 内田 博 加藤 道久 河本 昌志 中塚 秀輝  
仁熊 敬枝 鷹取 誠 田中 裕之 松本美志也 横山 正尚  
萬家 俊博

(九州支部)

支部長：山本 達郎  
総務委員：有村 敏明 牛島 一男 外 須美夫  
学術委員：垣花 学 北野 敬明 山浦 健  
教育委員：川崎 貴士 上村 裕一 坂口 嘉郎  
広報委員：瀬尾 勝弘 恒吉 勇男 原 哲也

## 8. 2017年度関連諸団体委員等一覧

### 【日本医師会】

疑義解釈委員会：齋藤 繁

### 【日本医学会】

評議員：稻田 英一  
連絡委員：上村 裕一  
医学用語連絡委員：小竹 良文  
代委員：鈴木 孝浩  
利益相反委員：萬 知子

### 【厚生労働省医道審議会標榜医審査会】

部長代理：西脇 公俊  
委員：齋藤 繁 鈴木 宏昌 飯田 宏樹 西川 精宣  
佐和 貞治 上村 裕一 萬 知子 近江 禎子

【日本専門医機構研修プログラム委員会】

委員：小森万希子

【日本専門医機構専門医認定・更新部門委員会】

委員：小板橋俊哉

【外科関連学会協議会】

委員：落合 亮一 齋藤 繁 森崎 浩  
懇談会：佐藤 哲文 鈴木 宏昌 竹内 護

【外科系医学会社会保険委員会連合】

処置委員会委員：寺嶋 克幸  
検査委員会委員：土井 松幸  
検査委員会（生体検査 医療材料 WG）：土井 松幸  
実務委員会委員・手術委員会委員：横田 美幸  
手術委員会（コーディング WG）：澤 智博  
手術委員会（医療材料・医療機器 WG）：岩瀬 良範  
麻酔委員会委員長：山田 芳嗣  
麻酔委員会副委員長：横田 美幸  
麻酔委員会委員：落合 亮一 岩瀬 良範  
総務委員会委員：山田 芳嗣

【日本外科系連合学会】

総務委員：鈴木 宏昌

【日本救急医療財団】

理事：花岡 一雄  
心肺蘇生法委員会委員：多田 恵一

【日本蘇生協議会】

委員：多田 恵一  
ガイドライン 2020 共同座長：石川 雅巳 加藤 啓一

【3学会合同呼吸療法士認定委員会】

派遣委員：川前 金幸 中澤 弘一 山田 芳嗣

【日本歯科麻酔学会】

監事：小板橋俊哉

【全国 M C 協議会連絡会世話人会】

世話人：多田 恵一

【全国医療安全共同行動】

委員：西脇 公俊

【禁煙推進学術ネットワーク】

委員：西脇 公俊

【日本医療安全調査機構】

委員：西脇 公俊  
肺血栓塞栓症専門分析部会員：黒岩 政之  
中心静脈カテーテルに関する専門分析部会員：徳嶺 讓芳  
アナフィラキシーに関連した死亡に関する専門部会員：高澤 知規

【医療ガス設備等安全確保に係る問題検討委員会】

委員：白石 義人

【ISO/TC121 国内委員会】

委員：森松 博史

【JIS 原案作成委員会委員】

委員：大嶽 浩司 森松 博史

【人工臓器治療関連学会協議会】

委員：藤野 裕士

【臓器移植関連学会協議会】

委員：齋藤 繁

【緩和ケア普及啓発事業関連団体協議会】

委員：齊藤 洋司

【日本母体救命システム普及協議会プログラム開発・改訂委員会】

委員：加藤 里絵 角倉 弘行 田中 基

【日本母体救命システム普及協議会研修企画委員会】

委員：狩谷 伸享

【日本母体救命システム普及協議会インストラクター育成委員会】

委員：中畑 克俊

【日本母体救命システム普及協議会認定委員会】

委員：照井 克生

【日本母体救命システム普及協議会学術委員会】

委員：奥富 俊之 照井 克生

【日本母体救命システム普及協議会幹事会】

委員：照井 克生

【厚生労働省 研究班（無痛分娩の実態把握及び安全管理体制の構築についての研究）】

研究協力者：飯田 宏樹 角倉 弘行

【World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)】

○Council

Executive Committee：稲田 英一

○Permanent Committees

Constitution Committee：大嶽 浩司

Scientific Affairs Committee：土田 英昭

Educational Committee：横山 正尚

○Specialty Committees

Obstetric Anaesthesia Committee：角倉 弘行

Pediatric Anaesthesia Committee：蔵谷 紀文

○Working Parties

Professional Wellbeing Committee：後藤 隆久

【Asian and Australasian Regional Section (AARS)】

Treasurer：大嶽 浩司

## 9. 事 業 監 查 報 告 書


# 監査報告書


公益社団法人 日本麻酔科学会  
理事長 稲田 英一 殿

2018年 4月 26日

公益社団法人 日本麻酔科学会

監事 鈴木利保 

監事 福田和彦 

監事 山田芳嗣 

私たち監事は、2017年4月1日から2018年3月31日までの2017年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以下の方法に基づき、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該年度に係る計算書類等(貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録)について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上